

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2-10-1		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/higasitakane/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和53年4月)		
指定管理者名	横浜緑地・西武造園グループ		
指定期間	H21. 4. 1~H27. 3. 31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>◆管理運営等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画書で掲げる事項を実施し、利用者数の増加や満足度の向上、地域への発信等、利用促進が目覚ましいが、利用の快適性や安全性の向上に加え、情報の蓄積と発信を通じ、本公園の独自性に対する理解を促す更なる取組みを期待したい。 <p>◆利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標達成率で113.1%となったため、S評価となったが、施設への負荷や利用者の快適性の向上を図る更なる配慮が必要である。 <p>◆利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> 9割を超える利用者が満足感を得ているため、S評価となったが、施設の安全で快適な利用に対する更なる配慮が必要である。 <p>◆収支状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 収入不足(-1,707千円)が発生し、自主事業からの一部補填に頼る構造となっていることから、B評価となった。 <p>◆苦情・要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣地所有者とのコミュニケーションの確保に努め、真摯に対応しており、今後も継続的な対応を期待したい。 <p>◆事故・不祥事等</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後の再発防止の取組みが見られた。 <p>以上を総合的に勘案し、総合評価をAとした。</p>
S: 極めて良好な管理運営状況 A: 良好な管理運営状況 B: 一部改善が必要な管理運営状況 C: 抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	月3回程度	
随時モニタリング 指導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
培ったノウハウを活用し、多様なニーズに対応したイベントの企画運営を通じ、魅力あふれる公園づくりを行う。	大小150のイベントの企画運営や連続講座の開催を通じ、多様な公園利用を促しており、連続講座へのリピーターも見られる。	本公園の独自性を向上させるため、イベントのバリエーション化と併せて分野毎の体系化や総合化の推進が必要。
地域や様々なボランティア団体同士の連携を促進し、公園協議会の充実等により、地域を結ぶ、地域とともに育む公園づくりを行う。	地元自治会等との年3回の情報交換による意思疎通、年12回開催の東高根森林塾の企画運営を実施し、自然、健康、防災、地域をテーマに地域交流を図っている。	地域住民やボランティア等の意見を公園利用者還元し、相互理解とニーズに応じた主体的な参画の機会を拡大する取組みが必要。
ユニバーサルサービスの積極的導入やセルフガイドによるユーティリティツールを充実し、誰もが気軽に楽しめる笑顔あふれる公園づくりを行う。	社会福祉団体との意見交換や利用者の協力を得て野鳥図鑑を作成し販売する等、多様な利用を促す参画の機会を確保する取組みが見られる。	利用情報の提供や園内サインのタイムリーな更新等、情報収集と蓄積、還元への更なる取組みが必要。
近隣住民や利用者の意見を反映した地域にとって安全安心で良好な環境づくりに寄与する公園管理運営を行う。	過年度に引き続き、自治会の避難訓練や企業と連動したイベント(防災フェア)を開催したほか、外周の樹木管理の在り方について、初めて意見交換を行った。	公園利用と地域の安全安心を確保する取り組みに対する多様な意見の調整と合意形成を図る積極的な取組みが必要。
生物多様性向上やエコアクション21、環境に配慮した公園管理運営の促進と地域への発信を図る。	護岸の多自然化やシラカシ林の選択的伐採、フリーマーケットの開催等のリサイクルや園内発生材の転用等への取組みが見られた。	利用者へのアピールや成果を分かりやすく伝えるため、実施効果の数値把握や屋内外での展示等、更なる工夫が必要。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の提案内容	実施状況等
「駐車場運営事業」によるサービス提供	混雑時には交通整理員を配置し誘導を図っているほか、有料期間中に料金を徴収し、5,934,780円の収入を得た。
ニーズに対応した、多様な自動販売機の新規設置によるサービス提供	過年度に引き続き自動販売機を4台設置し、2,484,267円の収入を得た。
「移動車両飲食サービス」との提携によるサービス提供	11月開催の収穫感謝祭で移動車両による飲食の提供を実施し、17,875円の収入を得た。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>>目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	336,836	341,996	359,565	374,316
対前年度比			105.1%	104.1%
目標値	[目標値設定根拠]	331,000	331,000	331,000
目標達成率	H18～20年度実績平均の95%	103.3%	108.6%	113.1%

[参考：最大利用可能人数]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※1	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
S	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	「満足」と「どちらかと言えば満足」の回答が、回答全体の90%以上を占めている。

実施した調査の配付方法 利用者に直接配布 回収数/配付数 178 / 178 = 100.0%

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	128	47	1	2	0	178	満足：従前に比して、スタッフ対応、植栽管理の向上に満足を感じていると考えられる。 不満：落ち葉で滑りやすい等。
回答率	71.9%	26.4%	0.6%	1.1%	0.0%		
前年度の回答数	82	61	2	6	2	153	
回答率の対前年度比	134%	66%	43%	29%	0%		

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	48,011	50,421	50,526	52,027	※その他収入＝ 駐車場収入(自 主事業)
指定管理料	44,050	44,361	44,466	45,736	
利用料	0	0	0	0	
その他収入	5,670	5,185	5,418	5,935	
合計	49,720	49,546	49,884	51,671	
対前年度比		99.7%	100.7%	103.6%	
対計画比	103.6%	98.3%	98.7%	99.3%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	50,975	50,421	50,526	52,027	
支出額	44,893	50,352	51,558	53,377	
(内 納付金)					
対前年度比		112.2%	102.4%	103.5%	
対計画比	88.1%	99.9%	102.0%	102.6%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	-2,964	0	0	0	
収支差額	4,827	-806	-1,674	-1,707	
対前年度比		—	207.8%	101.9%	
収入合計／支出合計の比率	110.8%	98.4%	96.8%	96.8%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
H26.8～H27.10	9,106	複合遊具更新：1基(9,106)
H26.10～H27.3	51,379	木栈道改修：109m(51,379)
H26.11～H27.2	1,026	湿生植物園内水中ポンプ更新：1台(1,026)
H27.3	1,600	東屋屋根葺き替え：1基(912)、木栈道部材交換：31m(688)
H27.3	1,606	ベンチ座板交換：4基(874)、園路補修：24㎡(732)
H27.3	1,303	ベンチ設置・移設：4基(613)、階段補修：1式(415)、園路補修：21㎡(275)
H27.3	1,537	野外卓更新工事：交換2基・撤去4基(1,537)
H27.3	486	公衆便所・パークセンター内照明灯交換：1式(486)
H27.3	306	北口井戸中水ポンプ交換・フード弁設置：1台(306)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300,000 円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入	1,707	自主事業の収益から充当
支出	1,707	指定管理業務の収支差額に充当
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況	
施設・設備	対面	2 件	隣接地への支障枝を伐採して欲しい。	枝落とし、剪定を実施
	手紙	1 件	自宅隣接地の竹林の間引きをして欲しい。	作業スケジュールを説明
	電話	1 件	市道沿いの除草をして欲しい。	公園境の除草を実施
	電話	2 件	公園外周の樹木の落ち葉対策等をして欲しい。	次年度に抜本的対策を検討する
	対面	2 件	ノーリードで犬を走らせている人がいるので注意喚起を強化して欲しい。	見回りを強化
	対面	1 件	犬連れで楽しめる場所にして欲しい。	ドッグラン等の施設は設ける計画がない旨回答
	対面	3 件	樹名板や草花の名札をつけて欲しい。	簡易な樹名板を設置
	対面	1 件	植物採取禁止の看板が多すぎる。	園内のマナーを守っていただく掲示をしている旨回答
	対面	1 件	植物の説明板が古く、文字が読めず残念。	説明板は順次取替えている旨回答
	対面	1 件	園内の案内図が見にくい。	案内板交換の際に見やすい案内板とすることを検討
	対面	2 件	くつろぎやすい場所にベンチを設置して欲しい。	毎年ベンチは増やしていることを回答
	対面	1 件	ピクニック広場のベンチが腐木だった。	部分補修を実施
	対面	2 件	子供広場に近い木栈道が滑る。	ゴムマットを設置
	対面	1 件	コインロッカーを設けて欲しい。	預ける必要がある場合は、受付に相談するよう回答
	対面	2 件	女子トイレに幼児用（男子）トイレや便座を増やして欲しい。	多目的トイレを利用して欲しい旨を回答
	対面	1 件	ビニールプールの持ち込み利用、水遊びができる設備を作って欲しい。	水質管理上、持ち込み利用の禁止や整備予定がない旨を回答
	対面	1 件	古代植物園やユリ園の手入れをもう少しして欲しい。	植物管理の検討を行う旨を回答
	対面	1 件	草木の刈込の回数を少なくして欲しい。	自然観察区域での刈込は極力制限している旨を回答
	対面	1 件	室内イベントなのにエアコンがなく、屋外よりも暑いのはつらい。	時間を短縮する等、運営内容を工夫した。
	対面	1 件	園内の小川がどのように平瀬川に流れていくのか説明書きがあるとよい。	周辺地域の歴史やつながりを視点に、関係性も調査する
	対面	1 件	蚊が心配で奥まで行けない。	虫よけスプレーを受付に常備してある旨を回答
対面	1 件	掃除が行き届いていない。	毎日朝夕2回園内のゴミ清掃を実施している	
対面	1 件	園路でキックボードをしている人がいて危険。見回り強化をして欲しい。	園内に掲示板を設置	
対面	1 件	ザリガニ釣りの道具があればよい。	道具はそれぞれ準備していただくようお願いしていると回答	
対面	1 件	園内間伐材を自宅まきストーブの燃料に使いたい	個人への提供はできない旨を回答	
職員対応	電話	1 件	園内樹木の枝おろしの際に、無断で隣接地の樹木の枝を切ったことへの苦情	隣接地権者に謝罪、官民境界の確認を徹底

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
H26. 5. 16	朝の巡回時に芝生広場内で焚火跡(半径1m弱)を発見した。	夜間は無人であり、往来もなく、近隣民家からの見通しも効かないため	①宮前警察に連絡、現場確認をしてもらい、夜間パトロールの強化を依頼。(H27年度から、夜間警備実施期間を拡大5/1~10/31) ②発見時に報告を受け、以降の推移を見守ることとした。
H26. 6. 28	低木刈込作業中に、作業員が玉石積の天端から転落し、打撲を負った。	玉石積の天端が滑りやすい少雨の中で作業を行った。	①雨天や降雨後は、斜面地や滑りやすい箇所での作業は行わない。2名以上の作業で互いに安全を確認する。危険箇所を作業前に全員が確認する。②月例報告時に、再発防止の報告を求めた。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。